

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付ける。		生活に関する課題を具体的に見だし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力を身に付ける。		人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて関心を持ち，その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付ける。		
評価の観点 の趣旨	・単元の学習目標を理解し，必要な知識を習得し，理解できる。 ・基礎的・基本的な技能を習得し，活用することができる。		・生活課題について，自分の生活と関わらせて考えを深め，まとめたり発表することができる。		・単元の学習目標を理解した上で自らの生活に関心を持ち，これからの自身の生き方や社会との関わりについて考えようとしている。		
評価の方法	ノート 定期考査	実習レポート	観察 ノート グループワーク	発表 定期考査	観察 実験レポート ノート	グループワーク 定期考査	発表 ノート 定期考査

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
B 衣食住の生活の科学と文化 （2） 衣生活の科学と文化	1 2 年次の学習内容とその目的及び学習の進め方を理解する。 2 人間と被服の関係を，被服の歴史から確認する。 3 わが国の被服材料の供給や被服産業の現状を理解する。	4	【向上力】 今後のライフステージを見通しながら，自分の衣生活をどのように創造していきたいかについて，主体的に考察することができる。	【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活について関心を持ち，自分自身の衣生活を振り返り，課題を見つけることができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 （2） 衣生活の科学と文化	1 被服の機能について知り，T.P.O.に応じて，ライフステージに応じて，自分も他人も快適になる被服の着用ができるようにする。	3	【生活力】 自分らしい着装の在り方について深く考察し，自分なりのコーディネートを表現しようとする態度を身に付けることができる。	【知識・技能】 被服には保健衛生的機能と社会的機能があることを知り，健康・安全などについて配慮した被服の選択が適切にできると同時に，被服が内面的個性を表現する手段であることも理解することができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 （2） 衣生活の科学と文化	1 被服材料の種類，性能，性能向上のための各種加工法を知る。 2 被服着用による健康障害や事故について知識を深め，トラブルの処理のしかたを理解する。	4	【理解力】 用途や着用目的に合った被服材料の選択について，学習内容をさまざまにリンクさせながら具体的に考察することができる。	【知識・技能】 被服材料の種類と特徴および着ごこちや手入れ・保管にかかわる性能を理解するとともに，用途や着用目的に合った被服材料を選択し，健康・安全に配慮した衣生活を営むことができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 （2） 衣生活の科学と文化	1 洗濯の目的と方法，洗剤の種類と働きを理解する。 2 被服の洗濯以外の手入れ方法を知る。 3 被服の収納の方法を工夫し，実践する態度を養う。	3	【関心力】 繊維製品の取り扱い絵表示を読み解き，適切な洗濯方法を選ぶことができると同時に，被服材料に応じた被服整理や適切な衣生活の管理について考察することができる。	【主体的に学習に取り組む態度】 洗濯の種類や汚れの種類，洗剤の成分について理解し，合理的な洗濯の方法を実践することができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 （2） 衣生活の科学と文化	1 衣生活における資源や環境問題を考え，配慮する姿勢をもつ。 2 持続可能な社会と個々人のライフスタイルの関連を理解させ，実践に結びつけられるようにする。	4	【表現力】 資源の有効利用の観点に立った被服計画の必要性を理解し，自分のライフスタイルと関わらせて環境に配慮した衣生活の営みについて考えをまとめることができる。	【思考・判断・表現】 資源・エネルギー問題や環境保全に配慮した再利用や適正な廃棄の方法などについて考えを深め，環境に調和したライフスタイルの在り方について思考を深め，考えをまとめたり，発表したりすることができる。
C 持続可能な消費生活・環境 （3） 持続可能なライフスタイルと環境	1 日々おこなっている生活の行為が環境へ負荷を及ぼしていることを理解する。 2 SDGsについて理解し，一人ひとりの行動変容こそが大きな解決の力となることを理解する。	3	【生活力】 消費生活と資源や環境とのかかわりについて関心を持ち，環境に調和したライフスタイルの在り方について考えをまとめることができる。	【知識・技能】 大量生産，大量消費，大量廃棄の生活が環境へ与える負荷を理解している。
B 衣食住の生活の科学と文化 （1） 食生活の科学と文化	1 現代の食生活の問題点について，自分の食生活を分析し，問題点を把握する。 2 現在の食生活の現状を理解し，どのようにすればより健康的な食生活を送ることができるかを考える。	4	【分析力】 自分の食生活を点検し，問題点を分析し見直すことができる。	【思考・判断・表現】 自分の食生活や家族の食生活を分析し，改善方法について考えを深め，まとめたり，発表することができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 （1） 食生活の科学と文化	1 食事と食品と栄養素の関係について理解する。 2 食事摂取基準，食品群の種類を理解し，その目的と生活のなかでの利用方法を理解する。	4	【理解力】 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすについて，家族や自分の食生活と関連させて具体的に考え，理解することができる。	【知識・技能】 食事摂取基準，四つの食品群別摂取量のめやす，栄養価計算について活用方法を理解し，日本食品標準成分表を活用した食事の栄養価計算ができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 （1） 食生活の科学と文化	1 五大栄養素について，その働きと多く含む食品，その利用方法を考える。 2 日本人に不足しがちな栄養素や過剰になりがちな栄養素を知り，その摂りかたについて考える。	10	【生活力】 栄養素の種類と機能をふまえ，食品を組み合わせで摂る具体的な献立を考察することができる。	【知識・技能】 五大栄養素の栄養的特質を食品群と関連させて理解することができると同時に，栄養素の種類と機能を理解したうえで，献立を立てることができる。

B 衣食住の生活の科学と文化 (1) 食生活の科学と文化	1 近年多発する食品に関する事件を取り上げて、なぜそのような事態が生じたのかを知るとともに、消費者として身につけるべき知識と判断力について考える。 2 食中毒の発生原因を知り、防ぐ方法を理解し、実行できるようにする。	4	【生活力】 近年の食品の安全性について思考を深め、食の安全を守る仕組みについて理解することができる。	【知識・技能】 食中毒の発生状況や原因を理解し、食品の安全性にかかわる問題点などを通して、食生活と健康との関連を理解することができる。
B 衣食住の生活の科学と文化 (1) 食生活の科学と文化	1 食品を調理する目的を理解し、調理により食品がどのように変化するか、また同じ食品でも調理操作により味やテクスチャーが異なるものになることを理解する。 2 調理を科学的に理解する態度を養う。	12	【表現力】 食生活の多様化や食環境の変化に興味をもち、調理実習・実験に取り組む中で身に付けた技術を表現することができる。	【思考・判断・表現】 食品の調理上の性質をいかした調理法について理解し、調理の基礎技術を身につけ、実生活で活用し、調理することができる。
C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画	1 経済的自立について理解する。 2 家計管理と資金管理について知る。 3 消費にかかわる契約について理解する。 4 契約を交わす際の注意点、契約を交わしたときに発生する法的責任、契約に関するトラブルについて知る。	3	【生活力】 生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画を立てて、経済計画の重要性について考えを深めることができる。	【知識・技能】 生涯を見通した経済計画の必要性について主体的に捉え、多様化する消費者問題の特徴を理解している。
B 衣食住の生活の科学と文化 (1) 住生活の科学と文化	1 住まいの役割や重要性を理解する。 2 住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える。 3 住まいや住生活の現状を知り、改善のための課題について考える。	4	【分析力】 想定した家族や住まいをもとに、住まいの機能や住空間と家族の暮らしかたなどについて分析しながら考察することができる。	【思考・判断・表現】 日本社会の気候風土に合わせた住まいの工夫について調べたことを、まとめたり、発表したりすることができる。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	1 これまでの学習をいかし、問題意識をもって生活の中から課題を発見し、その解決方法を知る。 2 具体的な活動計画を立てて実践し、その成果をわかりやすく報告する。学習のまとめ	4	【向上力】 「キャリア探求」の授業と関わらせながら、生活や地域の中から課題を見出し、課題解決にむけて思考を深め、主体的に実践することができる。	【主体的に学習に取り組む態度】 家庭科の学習の発展として「ホームプロジェクト」と「スクールプロジェクト」について関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組むことができる。

備考

【留意事項】 ・毎時間の授業において、学習内容を自分自身にいかにかかわることができるかを前向きに考え、ノートの感想欄に記述できるよう努力してください。 ・家庭生活と社会とのかかわりを理解するために、授業内で紹介した書籍や新聞等には積極的に目を通してください。
